

陳情 27 - 12 (写)

「教育大綱」の運用にあたっては教育現場の意見や区民の意見を反映する
内容とすることについての陳情

< 陳情趣旨 >

この度、「台東区教育大綱」について、総合教育会議で話し合わせました。

今後、台東区の教育指針となるであろう「大綱」が、たった2回、ほんの数時間しか討議されず、また区民の意見を聞くこともなく、結論ありきで決められてしまったことを、大変残念に思います。

教育指針を決めるなら、もっと時間をかけて多面的に検討し、広く区民の声を、そして何よりもまず教育現場の声を聞くべきです。

そもそも教育のあり方を決めるに際しては、教育現場である学校や幼稚園、保育園の先生方や子どもたちと、その保護者の声が尊重されるべきです。

台東区ならではの、庶民が連綿と受け継いできた台東区ならではの伝統と文化、世代を越えて培ってきた、個性豊かで人情味あふれる下町・台東の歴史を子どもたちに引き継ぐことが求められます。

以上の観点から、以下のことを要求します。

< 陳情事項 >

- 1 台東区の教育の方針については、政治が教育に介入することのないようにしてください。
- 2 「教育大綱」の運用にあたっては、教育現場の意見を尊重し、また広く区民の声を聞いてください。
- 3 今後「教育大綱」の改定等を行う場合は、その為の、教育当事者や区民が参加して作成する委員会を設置してください。

平成27年5月29日

台東区議会議長

太田雅久 殿